編集委員会から

４年間，ありがとうございました

第 22 巻第 4 号から編集委員長を務めてきました田中です。第 26 巻第 4 号からは新編集委員長の編集で日本食品工学会誌が発行されます。

「編集委員会から」は前編集委員長の山本修一先生が始められました（第 17 巻第 2 号，2016 年 6 月発行）。学会誌の編集に関係する内容を取り上げてきました。田中が担当した回のタイトルは以下のとおりです。

日本食品工学会誌

第 22 巻第 4 号（2021 年 12 月）	新編集委員会から
第 23 巻第 1 号（2022 年 3 月）	タイトル重要
第 23 巻第 2 号（2022 年 6 月）	ISO 4 に準拠した雑誌名の省略形
第 23 巻第 3 号（2022 年 9 月）	英文論文の「和文要約」のご活用のお勧め
第 23 巻第 4 号（2022 年 12 月）	量記号について
第 24 巻第 1 号（2023 年 3 月）	J-STAGE を利用した論文の早期公開と DOI
第 24 巻第 2 号（2023 年 6 月）	即時オープンアクセスの潮流
第 24 巻第 3 号（2023 年 9 月）	J-STAGE のオープンアクセスと Creative Commons License
第 24 巻第 4 号（2023 年 12 月）	2023-2024 年度の編集委員会もよろしくお願いします
第 25 巻第 1 号（2024 年 3 月）	論文の XML 化について
第 25 巻第 2 号（2024 年 6 月）	References はデータベース
第 25 巻第 3 号（2024 年 9 月）	ISSN と ISSN-L
第 25 巻第 4 号（2024 年 12 月）	人工知能と著作権
第 26 巻第 1 号（2025 年 3 月）	日本食品工学会誌のオープンアクセスとオープンデータアクセス
第 26 巻第 2 号（2025 年 6 月）	表紙の色

投稿論文の書式を整えていただくことを目的とした回（ISO 4 に準拠した雑誌名の省略形，量記号について）もありますが，著作権とオープンアクセスについても多く取り上げさせていただきました。現在，日本食品工学会誌では，即時フリーアクセス（会誌掲載と同時に無料で論文が読める）を基本としていますが，著者の希望により，即時オープンアクセス（会誌掲載と同時に無料で論文が読め，図表等の二次利用も Creative Commons License の BY-NC-SA に従えば可能）やオープンデータアクセス（J-STAGE Data を利用した掲載論文のグラフの数値データなどの公開が可能）を選べるようになっています。全文 XML 化も行いましたので，オープンアクセスにした場合に図表を利用しやすくなりましたし，本文の XML 化により，人工知能を含む各種データベースでの文章の解析も容易となりました。

オープンアクセス化などは学術雑誌に対する時代の要請に応えたものです。「編集委員会から」に記述した内容は，時代とともに移り変わりますので皆様ご自身でアップデートしていただきたいのですが，調べられるきっかけにしていただければ幸いです。

最後になりましたが，読者，著者，審査員，編集委員，事務所の方々にお礼申し上げます。４年間，ありがとうございました。

（新潟大学　田中孝明）

© 2025 Japan Society for Food Engineering